

令和 5 年度
公益財団法人 新日本宗教団体連合会
事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1 日
至 令和 6 年 3 月 31 日

目 次

◆概況	1
◆公益事業	1
◆管理部門	7
◆総支部	11
・北海道	11
・奥 羽	11
・東 北	12
・北関東	12
・首都圏	13
・北 陸	14
・中 部	15
・近 畿	15
・中 国	16
・四 国	17
・九 州	17

公益財団法人 新日本宗教団体連合会

令和5年度事業報告

概況

新宗連は教えや信条の違いを越え、共に手を携えて、人類福祉の増進と世界平和を目指して祈りと行動を続けてきた。一方、近年多発する自然災害、感染症等、人類は未曾有の苦難に直面している。不安、不信といった人々の苦悩漂う社会の中で、一人ひとりに寄り添う宗教の役割が求められている。

このような時にあたり、先達が見つないできた原点と歴史をあらためて省みるとともに、「信教の自由を守ろう」「信仰心を広めよう」「宗教協力を進めよう」「世界の平和に貢献しよう」というスローガンの現代的意義を再確認し、新宗連に参画する一人ひとりが自覚実践した。

そして『定款』に掲げる「目的」「事業」に基づき、諸事業を遂行した。(※各総支部共通)

○定款 第3条 目的

「この法人は、信教の自由の精神を高揚し、宗教団体の公益性を支援することにより、豊かな人間性の涵養とより良い社会の形成に寄与し、もって世界平和の実現に貢献する」

○定款 第4条 事業

「信教の自由の尊重及び擁護、宗教団体の宗教活動の推進、宗教団体相互の協力による、より良い社会形成の推進」

【重点課題】

- (1) 基本的人権の根幹である「信教の自由」の意義と精神を学び、自覚を深める
- (2) 一人ひとりが自己の信仰を見つめ直し、宗教尊重の気風作興と信仰心が尊重される社会づくりに貢献する
- (3) 「すべてのいのちを尊ぶ世界」－「世界平和」という共通の目標に向かい、加盟教団が協力して、社会浄化に努める
- (4) 緊迫する国際情勢、地球環境危機等を注視するとともに、戦争犠牲者、自然災害犠牲者をはじめとする物故者追悼の祈りを通して、世界平和につながる基盤構築に努める
- (5) 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により求められている新しい生活様式と宗教者、宗教教団の役割を探求する

公益事業

宗教団体が公益活動を自由かつ円滑に行えるよう、信教の自由の尊重と擁護、宗教団体個々の利益を超えた青少年の健全な育成及び豊かな人間性の涵養、不当な差別又は偏見の防止等を通して、より良い社会形成の推進に関する調査研究及び普及啓発活動を行った。

◆講座及びセミナー等の開催

(1) 信教の自由委員会・政治委員会合同学習会

日	程	令和5年4月24日
会	場	新宗連会館／オンライン
テ	マ	不当寄附勧誘防止法の経緯等について
講	師	宮崎政久・衆議院議員
内	容	不当寄附勧誘防止法制定までの経緯、今後の課題等について意見交換した ※後日報告書を役員等に周知

(2) 理事会学習会

日 程 令和5年10月11日
会 場 新宗連会館／オンライン
テ ー マ 「宗教2世」問題を／から考えるー信仰継承・宗教的多元化・宗教リテラシー
講 師 塚田穂高・上越教育大学准教授
内 容 「宗教2世」問題と新宗連スローガン「信仰心を広めよう」について考える機会とした。

◆機関紙・インターネット等による広報

(1) 「新宗教新聞」の発行(年5回)

(令和5年度、第1面の主な記事)

06月号 第32期第4回理事会、ユースフォーラム2023

08月号 第58回「8.14式典」

信教委、政治委が「靖国神社の政治利用に対する意見書」提出

10月号 第32期第5回理事会

WCRP 日本委員会声明文「G7広島サミットを振り返って」を外務省に手交

新年号 石倉寿一・新日本宗教団体連合会理事長年頭所感

03月号 能登半島地震被災者支援、第32期第6回理事会

(2) 新宗連ホームページの定期更新

(3) 新宗教新聞 WEB 版「Headline」の定期更新

◆地域に根ざしたより良い社会の形成に向けた活動

新型コロナ禍により活動が制限される中、自粛により活動を休止した総支部、協議会もあったが、規模の縮小やオンラインを活用し、より良い社会の形成に向け対応した。

※詳細は P.11～P.18 を参照。

◆青少年育成に関する活動

青少年の健全育成、信仰心の醸成を目的とし、新日本宗教青年会連盟(新宗連青年会)を通して、「8.14式典」「ユースフォーラム」「青少年育成セミナー」等の各種事業を実施した。

(1) 第58回「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(8.14式典)」

※新日本宗教青年会関東連盟を中心に運営

日 程 令和5年8月14日

会 場 国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑(東京都千代田区)

式 次 第 主 催 者 あいさつ: 宮本泰克/新宗連青年会委員長
教団別礼拝(各教団代表者)

平和へのメッセージ: 加盟教団青年代表者

平和の祈り(黙祷)

新宗連代表あいさつ: 石倉寿一/新宗連理事長(代読)

参 列 者 約 50 人

※ライブ配信を通しての参加を呼びかけ、1,500人以上が視聴・参加した。

※8月19日に解脱会北本御霊地で式典に奉納された千羽鶴のお焚き上げを行った。

(2) ユースフォーラム 2023

日 程 令和5年4月22日～23日

会 場 北海道札幌市、白老町

メインテーマ 「共生ー違いを知り、理解し、ともに生きるー」

内 容 アイヌ民族2人の講話、ウポポイ(民族共生象徴空間)視察

参 加 者 約 70 人

(3) 第12回青少年育成セミナー

日 程 令和5年11月4日

会 場 立正佼成会本部/オンライン

- テ ー マ 今後の青少年育成セミナーの在り方について
 内 容 これまでの青少年育成セミナーを振り返り、今後の在り方について議論した。
 参 加 者 20人
- (4) 第28次アジア青年平和使節団
 日 程 令和6年3月15日～20日
 場 所 タイ王国カンチャナブリ、立正佼成会バンコク教会
 内 容 カンチャナブリのナムトクの丘、JEATH 戦争博物館、連合軍墓地、泰緬鉄道博物館、ヘルファイアパス・メモリアルなどを訪問し、慰霊、視察を行った。
 参 加 者 14人
- (5) シンガポール調査団
 日 程 令和5年11月20日～24日
 場 所 シンガポール共和国
 内 容 日本人墓地公園、ウォーメモリアル（日本占領時期死難人民記念碑）、旧フォード工場（戦争資料館）、グランジ戦争記念碑、チャンギ博物館、シロソ砦などを訪問し、慰霊、視察を行った。
 参 加 者 5人
- (6) 「沖縄慰霊の日」代表参列
 日 程 令和5年6月23日
 内 容 沖縄県主催沖縄全戦没者追悼式に参列したほか、沖縄戦・戦後復興の学習も行った。
 参 加 者 5人
- (7) 各種会合の開催
 ○委員会（4月22日、6月27日、8月13日、11月5日、令和6年1月19日）
 ※うち4月と11月は拡大委員会として全国11連盟の代表者が出席した。
- (8) 地方連盟・県（地区）委員会の活動
 ※以下、新宗連青年会（全青連）の各種会議・行事への参加や、総支部・協議会への参加については省略。
- 北海道連盟
 ・ユースフォーラム2023の受け入れ（4月22日～23日）、反省会（7月22日）
- 奥羽連盟
 ・ユースフォーラム検討会（9月30日～10月1日、11月14日、令和6年1月7日～8日、3月30日～31日）
 ※立正佼成会花巻教会／オンライン、11月はオンライン
 ・役員総会（7月10日～31日／書面表決）
- 東北連盟
 ・活動なし
- 北関東連盟
 ・常任委員会（6月11日／5人、12月9日／7人）
 ※6月はオンライン、12月は立正佼成会高崎教会／オンライン
- <包括県委員会>
 ○群馬県委員会
 ・委員会（令和6年2月17日）
- 関東連盟
 ・委員会（6月9日、令和6年3月11日）
 ※6月はオンライン、3月は新宗連会館
 ・第58回「8.14式典」の運営協力（8月14日 千鳥ヶ淵戦没者墓苑）
 ※実行委員会等の開催（6月9日、7月7日）
 6月はオンライン、7月は新宗連会館／オンライン
 ※反省会（12月10日）

- ・役員改選を行った。
- 北陸連盟
 - ・活動なし
- 中部連盟
 - ・常任委員会（4月22日／9人、6月3日／11人、10月14日／9人、令和6年2月11日／14人）
 - ※4月、6月、2月はオンライン併用、10月はオンライン
 - ・臨時常任委員会
 - 内 容：ピースフォーラムに向けて
 - ※オンライン
 - ・青中連ピースフォーラム 2023
 - 内 容：マインドフルネス瞑想に基づく講演、グループディスカッション、マインドフルネス瞑想の体験等
 - 講 師：浦崎 雅代 氏
 - 参加者：37名（オンライン12名）
- 近畿連盟
 - ・委員会（9月5日／6人、10月25日／6人、令和6年1月19日／8人）
 - ※9月、10月はオンライン、1月は大慧會教団
- 中国連盟
 - ・活動なし
- 四国連盟
 - ・オンラインミーティング（5月14日／6人、7月8日／6人、11月18日／6人、令和6年2月25日／6人）
 - 内 容：今後の予定確認、活動案の検討、心境や近況の語り合い
- 九州連盟
 - ・青九連ユースフォーラム 2023 in 佐賀（10月8日／91人 立正佼成会佐賀教会周辺）
 - テーマ：「佐賀の魅力を SAGA しに行こう
～出会えること生かされていることに感謝」
 - 目 的：地域の魅力や歴史について学び、交流する中で、お互いを認め合う。相手の魅力に気づくことで信仰の尊さを高め合う。
 - 内 容：ウォークラリー
 - ・常任委員会（6月4日／11人、9月9日／17人、12月9日／15人、令和6年1月28日／14人、3月3日／12人）
 - ※9月は立正佼成会佐賀教会／オンライン、12月は立正佼成会唐津教会／オンライン、他はオンライン
 - ・第51回 原爆殉難者慰霊祭（長崎県宗教者懇話会主催）への参列
（8月8日 長崎市原爆落下中心地）
 - 参加者：献灯者24人、スタッフ17人

◆調査研究活動

（1）専門委員会による調査研究

「信教の自由」、宗教法人の社会的役割等に関する情報収集と提言案作成を目的とし、下記の通り専門委員会による調査研究を実施した。

○信教の自由委員会

「信教の自由」と政教分離に関する調査研究と情報収集を行った。また7月27日、自由民主党の小淵優子自民党組織運動本部長に対し岸田文雄内閣総理大臣宛て、立憲民主党、国民民主党、日本維新の会の代表に対し、鈴木裕治委員長、力久道臣政治委員長連名の「靖国神社の政治利用に対する意見書」を提出した。令和6年1月23日には政治委員会・憲法研究会と合同で靖国神社を訪問、参拝と宮司との懇談を行った。

委員会（4月19日、24日、5月18日、6月19日、7月27日、8月31日、11月10日）

※新宗連会館／オンライン

※第 32 期第 3 回理事会で設置した「信教の自由特別委員会」運営を併せて行い、政治委員会と共催した「不当寄附勧誘防止法」学習会、信教の自由に関する理事長メッセージ文責等を担当した。

○企画委員会

宗教法人が直面する諸問題に関する調査研究と情報収集を行い、特に宗教リテラシー、宗教 2 世問題等を主題とした識者との懇談や学習会の企画を行った。また、臨時で開催した「関東大震災 100 年・東京大空襲 78 年犠牲者慰霊式典」を主管した。

委員会（4 月 18 日、7 月 10 日、8 月 30 日、11 月 27 日）

※いずれも新宗連会館／オンライン

○会計委員会

公益法人及び宗教法人会計に関する調査研究を行った。理事会の要請により、令和 4 年度決算書案および令和 6 年度予算原案を作成するとともに、新宗連全体の運営に関わる資産管理、運用等について協議した。

委員会（5 月 24 日、10 月 19 日、令和 6 年 2 月 9 日）※いずれもオンライン

○政治委員会

宗教団体が直面する政治課題についての調査研究と情報収集、学習会等を行った。

委員会（4 月 24 日、5 月 18 日、6 月 19 日、7 月 27 日、11 月 10 日）

※いずれも新宗連会館／オンライン

○宗教法人研究会

宗教法人と公益性、宗教法人税制、労働法制等について調査研究と情報収集を行った。

幹事会（4 月 11 日、7 月 11 日、令和 6 年 2 月 19 日）※いずれも新宗連会館／オンライン

○同和推進連絡協議会

不当な差別又は偏見の防止及び根絶を目的とした同和問題、人権問題について調査研究を行った。また、対外活動として、部落解放・人権研究所、大阪希望館、「支縁のまちネットワーク」等への支援、協力活動、『同和問題』に取り組む宗教教団連帯会議（「同宗連」）、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議（大宗連）等の活動への協賛、情報収集等を行った。

○憲法研究会

「信教の自由」、政教分離原則に抵触する諸問題を中心に憲法改正の動向について調査研究を行った。

研究会（4 月 24 日、5 月 18 日、6 月 19 日、7 月 27 日、11 月 10 日）

※いずれも新宗連会館／オンライン

※各回とも政治委員会と合同で行った。

○将来構想検討プロジェクト

組織事業部会（4 月 7 日、5 月 17 日、7 月 11 日、8 月 30 日）

※いずれも新宗連会館／オンライン

(2) 関係団体をとおしての調査研究

この法人の目的達成及び各加盟団体の適正な運営に資する各種情報収集を行い、理事会、評議員会、各種専門委員会への情報提供を行った。

〈*主な関係団体〉

国際宗教研究所、宗教情報リサーチセンター（RIRC）、日本宗教学会、宗教倫理学会、宗教法学会、「宗教と社会」学会、教団附置研究所懇話会、政教分離の会、国際ビフレンダーズ東京自殺防止センター、部落解放・人権研究所、『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議（「同宗連」）、同和問題にとりくむ大阪宗教者連絡会議（大宗連）、支縁のまちネットワーク、大阪希望館、聖マーガレット生涯教育研究所（SMILE）、宗教者災害支援連絡会（宗援連）

◆「宗教もしもし電話相談室」活動

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動を自粛

◆宗教相互の理解と対話の促進

宗教文化の発展とより良い社会の形成を目的とし、各加盟団体間、及び神道・仏教・キリスト教・教派神道・新宗教教団等との相互理解を進め、戦争犠牲者の慰霊をはじめ「国際救援金」による国内外の援助活動など、宗教相互の理解と対話を促進する活動を実施した。

(1) 日本宗教連盟への参画

「信教の自由」の尊重と擁護並びにより良い社会形成の推進をはかるため、日本宗教連盟の構成団体として、同連盟の会合及び事業に参画した。

① 理事会（6月15日、6月30日、令和6年3月22日）

② 評議員会（6月30日）

③ 幹事会／宗教文化振興等推進委員会（文化庁宗務課、有識者との面談及び学習会、記者懇談会等を含）

（4月7日、27日、5月12日、7月28日、8月25日、10月26日、令和6年1月18日、2月13日、3月8日）

④ 不当寄附勧誘防止法説明会（6月28日、7月12日、9月27日、令和6年2月26日）

(2) 世界宗教者平和会議（WCRP）との連携

理事会、学習会（オンライン）等へ参加し、交流や連携を深めた。

(3) 比叡山宗教サミット 36周年記念「世界宗教者平和の祈りの集い」への参画

日 程 8月4日

開催地 比叡山延暦寺一隅を照らす会館／延暦寺会館（滋賀県大津市）／オンライン

(4) 新宗連国際救援金の運用と活用

能登半島地震に対し、石倉寿一理事長名でメッセージを発表するとともに、救援金を特定非営利活動法人・AMDA、被災地 NGO 協働センターに寄託した。また、ボランティア派遣等、中長期の支援に向けた現地調査等を実施した。

(5) その他、都府県宗教連盟、宗教懇話会等への参加

(6) 結成 70 周年特別委員会

特別委員会：5月22日 令和3～4年度に実施した特別事業の総括を行った

記念誌制作：『新宗連－宗教協力70年のあゆみ』1951～2022を制作した

(7) 関東大震災 100年・東京大空襲 78年犠牲者慰霊式典

日 程 11月30日

会 場 東京都慰霊堂（東京都墨田区）

式 次 第 主催者あいさつ：石倉寿一理事長

新宗連役員、加盟教団代表者、来賓による献花

教団別礼拝（各教団代表者）

黙 禱

閉会あいさつ：田澤清喜企画委員長

* 日本宗教連盟、宗教者災害支援連絡会の代表者も参列した

* 開会に先立ち東京都慰霊協会職員から東京都慰霊堂の概要について話を聞いた

参 列 者 55人

管理部門

1. 理事会

○第 32 期第 4 回（6 月 6 日 新宗連会館／オンライン）

- ・令和 4 年度新宗連事業報告、決算報告について、承認した。
- ・新型コロナウイルス感染状況に伴う運営方法について審議し、承認した。
- ・アフターコロナを見据えた今後の運営方針について審議し、一部修正する部分を確認し、今後継続して検討することを了承した。
- ・総支部運営の方向性等について審議し、引き続き将来構想検討プロジェクト等で具体的な施策について検討することを確認した。

○第 32 期第 5 回（10 月 11 日 新宗連会館／オンライン）

- ・令和 6 年度事業大綱（案）について審議し、承認した。
- ・令和 6 年度の主な会議・行事予定について審議し、承認した。
- ・関東大震災 100 年・東京大空襲 78 年の犠牲者慰霊式典の開催について、承認した。

○第 32 期第 6 回（令和 6 年 2 月 27 日 ホテルグランヴィア大阪／オンライン）

- ・内閣府立入検査に伴う規程の改定及び整備等について審議し、承認した。
- ・令和 6 年度事業計画並びに予算について審議し、承認した。
- ・宗教法人審議会委員を務める江口常務理事の再任を提案し、承認した。
- ・定時評議員会の開催について審議し、承認した。
- ・諸規程の整備について審議し、承認した。

2. 評議員会

○第 32 期第 1 回（6 月 29 日 新宗連会館／オンライン）

- ・令和 4 年度新宗連事業報告、決算報告を行い、承認した
- ・第 33 期役員等候補選考委員会委員を選任した

○第 32 期第 2 回（9 月 29 日 書面表決）

- ・理事 1 名、評議員 1 名の選任（交代）を決議した
- ・第 33 期役員等候補選考委員 1 名の選任（交代）を決議した

○第 32 期第 3 回（令和 6 年 1 月 26 日 書面表決）

- ・理事 1 名、評議員 2 名の選任（交代）を決議した
- ・第 33 期役員等候補選考委員 1 名の選任（交代）を決議した

3. 監査会

○令和 4 年度監査会（5 月 30 日 東京都渋谷区／新宗連会館）

- ・令和 4 年度新宗連事業報告等並びに計算書類及びその附属明細書並びに財産目録に関する監査を行った。

役員等に関する事項

(令和6年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日	常勤・非常勤の区分
名誉会長	深田 充啓	R4.6.27	非常勤
顧問	庭野 日鑛	R4.6.27	〃
同	新井 三知夫	R4.6.27	〃
同	保積 秀信	R4.6.27	〃
同	岡田 泰六	R4.6.27	〃
理事長	石倉 寿一	R4.6.27	〃
常務理事	宮本 恵司	R4.6.27	〃
同	江口 陽一	R4.6.27	〃
同	庭野 光代	R4.6.27	〃
同	力久 道臣	R4.6.27	〃
理事	田澤 清喜	R4.6.27	〃
同	新井 光興	R4.6.27	〃
同	嘉納 良樹	R4.6.27	〃
同	本山 一博	R4.6.27	〃
同	鉢呂 神龍	R4.6.27	〃
同	田中 庸仁	R4.6.27	〃
同	飯島 法道	R4.6.27	〃
同	深田 恵子	R4.6.27	〃
同	岡野 英夫	R4.6.27	〃
同	保積 志弘	R4.6.27	〃
同	出居 徳久	R4.6.27	〃
同	北浦 幸代	R4.6.27	〃
同	藤原 裕康	R4.6.27	〃
同	佐々木 孝則	R4.6.27	〃
同	高橋 秀典	R4.6.27	〃
同	小坂 匡弥	R5.9.29	〃
同	熊野 隆規	R6.1.26	〃
監事	番重 賢嘉	R4.6.27	〃
同	國富 敬二	R4.6.27	〃

評議員	石川 靖夫	R4.6.27	非常勤
同	眞塩 陽一郎	R4.6.27	〃
同	加納 理孝	R4.6.27	〃
同	保積 敬子	R4.6.27	〃
同	齋藤 賢一郎	R4.6.27	〃
同	榊原 隆三	R4.6.27	〃
同	左藤 滋光	R4.6.27	〃
同	平松 千明	R4.6.27	〃
同	木村 吉宏	R4.6.27	〃
同	仙波 達治	R4.6.27	〃
同	和田 めぐみ	R6.1.26	〃
同	鷹取 義博	R4.6.27	〃
同	山川 喜久子	R5.9.29	〃
同	中村 浩之	R6.1.26	〃

令和 5 年度事業報告の附属明細書について

令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しない。

北海道総支部 事業報告書

I. 事業方針

新宗連は教えや信条の違いを越え、共に手を携えて、人類福祉の増進と世界平和を目指して祈りと行動を続けてきた。一方、近年多発する自然災害、感染症等、人類は未曾有の苦難に直面している。不安、不信といった人々の苦悩漂う社会の中で、一人ひとりに寄り添う宗教の役割が求められている。

このような時にあたり、先達が見つないできた原点と歴史をあらためて省みるとともに、「信教の自由を守ろう」「信仰心を広めよう」「宗教協力を進めよう」「世界の平和に貢献しよう」というスローガンの現代的意義を再確認し、新宗連に参画する一人ひとりが自覚実践した。

そして『定款』に掲げる「目的」「事業」に基づき、諸事業を遂行した。(※各総支部共通)

※以下、各協議会役職者が、包括総支部主催の総務会、総会・学習会等に参加したことに関する協議会事業報告は記載を省略(各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

- 総支部代表者会議(5月12日・7人 立正佼成会札幌北教会、
10月13日・9人 松緑神道大和山苦小牧支部、
令和6年3月13日・9人 立正佼成会札幌北教会)

内 容：事務局長連絡会報告及び令和6年度の活動、学習会、慰霊供養の調整確認、対面で今後の総支部活動に向けて具体的な活動の在り方を模索し、活動再開に向けて具体的な意見交換

- アイヌ民族犠牲者慰霊供養(10月13日・16人[4教団] ウポポイ[民族共生象徴空間])

III. 協議会活動

<旭川地区協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<渡島・檜山地区協議会>

- 委員会(7月5日・6人 立正佼成会函館教会)

内 容：今後の活動の在り方について意見交換を行った

<オホーツク地区協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<釧路地区協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<道央地区協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<十勝地区協議会>

- 帯広緑ヶ丘墓地無縁故者慰霊供養

(8月6日・20人 松緑神道大和山北海道東部布教センター)

- 委員会(令和6年2月19日・3人 立正佼成会帯広教会)

<日胆地区協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

奥羽総支部 事業報告書

I. 事業方針 (※各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

- 総務会（5月5～20日・16人 書面表決）
- 東日本大震災犠牲者慰霊復興祈念式典
（5月27日・30人 岩手県陸前高田市東日本大震災追悼施設[野外]）
※以下慰霊供養参加に関する協議会報告は省略

III. 協議会活動

- <青森県協議会>
 - 表敬訪問（5月22日・3人 思親会弘前道場）
- <秋田県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <岩手県協議会>
 - 委員会（6月17日・16人 立正佼成会盛岡教会）
内 容：新旧役職者全員で自己紹介し、退任される方へ花束贈呈を行った

東北総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 総務会（4月21日・24人 書面）
内 容：理事会報告等をメールにて役職者へ送付

III. 協議会活動

- <福島県協議会>
 - 福島県宗教団体連絡協議会への参加
 - ・三役・幹事会（5月23日・11人 福島市ホテル大亀）
内 容：令和4年度の事業報告、会計決算、監事報告
令和5年度の事業計画、予算書等の確認
 - ・理事会（7月14日・25人 福島市フーラクーリアンテ）
内 容：令和4年度の事業報告、会計決算、監事報告
令和5年度の事業計画、予算書等の確認
 - ・研修会（9月27日・30人 福島市エルティ ウェディング）
内 容：「不当寄附勧誘防止法」説明会 ※日本宗教連盟・文化庁主催
 - 「第12回東日本大震災物故者慰霊洋上供養会―復興への祈り―」に参加
（7月8日・48人 いわき市小名浜江名港）
内 容：黙祷と各宗派の儀礼に則り礼拝、船上より散華と祈り並びに港湾供養
- <宮城県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <山形県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

北関東総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 総務会（7月10日・13人、11月8日・16人、令和6年3月25日・14人 オンライン）
内 容：理事会決定事項の共有、各教団・各県協議会の動き、役職者異動・互選、総支部申し合わせ事項の変更、令和6年度の総支部活動、首都圏総支部教化活動懇談会、青年会・各協議会の活動状況の共有

- 正副会長・事務局長会議（9月21日・3人 オンライン）
内 容：今後の活動計画並びに申し合わせ事項について確認を行った

Ⅲ. 協議会活動

<茨城県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<群馬県協議会>

- 群馬県宗教団体連合会の活動への参加

- ・調整会議（4月13日、6月1日、9月29日・各2人）
- ・定例理事会（5月12日、7月5日、10月5日、1月17日・各4人）
- ・設立60周年実行委員会（10月5日・4人）
- ・役員研修会（11月9日・4人）
- ・歳末助け合い募金受納式12月19日・3人）
- ・設立60周年準備委員会、調整会議（12月20日・3人）

<栃木県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<長野県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<新潟県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

首都圏総支部 事業報告書

Ⅰ. 事業方針（※各総支部共通）

Ⅱ. 会議及び総支部活動

- 教化活動懇談会（4月13日・16人 新宗連会館／オンライン）

講 話：立正佼成会の教え、千葉和男／立正佼成会東京教区長
※以下同懇談会参加に関する協議会報告は省略

- 事前学習会（7月31日・37人 神道扶桑教大教庁／オンライン）

講 演：宍野史生／神道扶桑教第六世管長
※以下同事前学習会参加に関する協議会報告は省略

- 研修会（9月11日・56人 高尾山薬王院有喜寺）

内 容：護摩祈祷、貫主法話、境内散策（書院・仏舎利塔）
※以下同研修会参加に関する協議会報告は省略

- 正副会長・事務局長会議

（10月5日・4人 玉光神社、令和6年1月18日・4人 オンライン）

内 容：理事会決定事項の共有と次年度事業計画についての検討

- 総務会（10月16日 思親会本部、令和6年3月13日 玉光神社／オンライン）

内 容：理事会決定事項の共有と次年度事業計画についての報告

- 總會・学習会（10月16日・30人 大山阿夫利神社）

テーマ：「大山詣り～その歴史と庶民を魅了したもの～」

内 容：江戸時代から現代にいたるまでの「大山詣り」信仰の歴史を辿りながら、庶民に根強く親しまれている理由をひも解く

講 師：目黒久仁彦／大山阿夫利神社権禰宜

Ⅲ. 協議会活動

<神奈川県協議会>

- 神奈川県宗教者連盟活動への参加

- ・理事会（4月11日、7月5日、9月12日、11月16日・各2人、

令和6年2月13日・3人 横浜天理ビル)

・神奈川戦没者追悼奉賛行事への参列(5月10日・2人 神奈川県立上大岡慰霊堂)

・宗教文化講座(10月3日・54人 川崎大師)

テーマ:「庭とところ～宗教的空間と心象風景との和合について～」

講師: 栢野俊明/曹洞宗徳雄山建功寺住職

○委員会(5月7日・10人 立正佼成会大船教会、9月10日・11人、

11月26日・12人 オンライン、令和6年3月24日 思親会本部)

内容: 総支部活動計画の報告・総会の受け入れ、神奈川県協の平和学習会について
令和6年度活動計画の検討、平和学習会の検討など

信仰体験交流会発表者: 落合雅史/松緑神道大和山、神奈川県協議会副議長

○令和5年度神奈川県協議会平和学習会(6月18日・170人 立正佼成会横浜普門館)

テーマ:「いま、戦争を語る～戦時中の生活～」

講師: 齋藤文夫/元参議院議員、元神奈川県議会議長

○正副議長会議(7月16日、令和6年1月27日・各4人 オンライン、外部会場)

議題: 第79回神奈川県宗教者連盟主催宗教文化講座の参加について、令和6年度の活動について

○令和6年度平和学習会実行委員会(令和6年1月27日・9人、3月17日 オンライン)

議題: 目的の確認、企画概要の検討

<埼玉県協議会>

○議長・事務局長打ち合わせ(12月12日・4人 立正佼成会浦和教会)

内容: 議長交代の為の顔合わせと引継ぎ

<千葉県協議会>

○令和5年度正副議長事務局会議(令和6年1月27日・4人 外部会場)

内容: 令和6年度千葉県協議会の活動について

<東京都協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<山梨県協議会>

○委員会(4月12日・7人 オンライン)

内容: 総務会報告、山梨県協議会事業計画・予算など検討

○環境学習会(6月20日・72人 立正佼成会鰍沢教会/オンライン)

内容: 災害・防災学習

講師: 山下博史/NPO法人災害・防災ボランティア未来会代表者

北陸総支部 事業報告書

I. 事業方針(※各総支部共通)

II. 会議及び総支部活動

○県協議会事務局長会議(6月27日・9人)

県協議会事務局長が立正佼成会の教会長のみのため、「新宗連総支部活動への参加の在り方」について教会長会議にて共有した

III. 協議会活動

<石川県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<富山県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<福井県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

中部総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 総務会（7月12日・14人 立正佼成会名古屋教会、11月14日・15人 沼津教会、令和6年3月12日・13人 立正佼成会名古屋教会／オンライン）
内 容：理事会・青年会中部連盟活動報告、情報交換、今後の活動の方向性について

III. 協議会活動

<愛知県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<岐阜県協議会>

- 委員会（5月23日・6人 真生会総本山真生寺）

内 容：コロナ禍で活動を休止し、その間に役職者が交代したこともあり、活動再開に先駆けて顔合わせをした

<静岡県協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<三重県協議会>

- 委員会（5月25日・7人 立正佼成会四日市教会）

内 容：理事会内容確認、総支部総務会報告、近況報告

近畿総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

○専門委員会

（4月14日、10月25日・各11人、令和6年3月12日・9人 新宗連大阪事務所）

※以下同専門委員会参加に関する協議会報告は省略

○総務会

（6月22日・25人 ホテル日航大阪、11月2日・15人 新宗連大阪事務所／オンライン）

○総務会・懇談会（令和6年3月25日・17人 ホテル日航大阪）

○総会・学習会（6月22日・25人 ホテル日航大阪）

テーマ：「新宗連の歴史、原点～総支部協議会の役割～」

内 容：新宗連の歴史や結成70周年総括式典で発表した将来計画などについて学び、小グループに分かれて意見交換などを行った。

III. 協議会活動

<大阪府協議会>

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<京都府協議会>

- 文書学習会 青年の言葉「私の信仰」・「世界の平和」（6月発行）

内 容：2教団9人の青年の言葉を載せた

- 代表者会議（7月11日・6人 立正佼成会京都教会）

- 祇園祭鉦引きボランティアへの協力（7月24日・20人[4教団]） ※青年部主催

- 京都府宗教連盟の活動への参加

・委員会、総会（7月25日・5人 仁和寺）

講演会：「古事記一読のお勧め」、講 師：村田健史／神社本教福王子神社宮司

- 学習会：「こども食堂」について、講師：湯浅誠／”むすびえ”代表
- ・深草墓園秋季慰霊祭への参加（9月9日・4人 京都市深草墓園）
- ・深草墓園春季慰霊祭への参加（令和6年3月9日・5人 京都市深草墓園）
- 近畿宗教連盟の活動への参加
 - ・常任理事会（9月11日・4人 立正佼成会京都教会）
 - ・令和5年度第74回京都総会（11月27日・5人 北野天満宮）
 - 内 容：令和4年度事業報告、令和5年度事業計画
- 京・滋合同交流会（11月25日・13人 [京都府協議会8人、大阪事務所1人、滋賀県協議会4人] 外部会場）

<滋賀県協議会>

- 委員会（7月21日・5人 立正佼成会滋賀教会）
- 内 容：令和5年度の活動について確認
- 京・滋合同交流会（11月25日・13人 [京都府協議会8人、大阪事務所1人、滋賀県協議会4人] 外部会場）

<奈良県協議会>

- 委員会（5月18日、7月5日、9月7日・各4人 立正佼成会奈良教会）
- 内 容：コロナ禍以降の状況と今後の協議会活動について、9月の奈良県宗教者フォーラムの確認、10月の談山神社清掃活動の実施決定と詳細の検討
- 第20回奈良県宗教者フォーラムへの参加（9月12日・6人 橿原神宮）
- テーマ：「日本のこころと宗教の役割～信仰の杜を伝える～」
- 内 容：世界平和祈願法要、基調講演、パネルディスカッション
- 基調講演テーマ：「神宮宮域林—モリの恒続性—」
- 講 師：村瀬昌之／元神宮司廳（伊勢） 営林部神宮技師
- 内 容：基調講演後、各界の宗教者（橿原神宮、春日大社、金峯山寺、立正佼成会）が登壇し、杜への取り組みをパネルディスカッション形式で発表を行った
- 清掃奉仕（10月22日・49人 談山神社）
- [円応教・12人、松緑神道大和山・5人、立正佼成会・32人]

<兵庫県協議会>

- 委員会（6月17日・12人 立正佼成会神戸教会）
- 兵庫県宗教連盟の総会への参加（令和6年3月11日・1人）
- 内 容：令和5年度事業報告・決算報告、令和6年度事業計画・予算、能登半島地震への取り組み、兵庫県宗教連盟規約改正について
- 兵庫県宗務行政事務協議会総務部法務文書課公益・宗教法人班から不活動宗教法人対策のあらましについて

<和歌山県協議会>

- 第58回戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典に折鶴奉納（7月末～8月3日）
- 新宗連加盟3教団で折鶴を持ち寄り、新宗連本部に送付
- 和歌山城公園清掃奉仕（10月27日・44人 和歌山城公園）
- 内 容：落ち葉及び一般ゴミを収集し、清掃後は野外昼食を兼ねて交流会。相互の啓発と布教の活性化を図った

中国総支部 事業報告書

I. 事業方針（※各総支部共通）

II. 会議及び総支部活動

- 会長代行・事務局長会議（9月29日・2人 立正佼成会広島教会）

内 容：11月開催予定の総務会に向けての確認

○総務会（11月5日、令和6年3月28日・各19人 オンライン）

Ⅲ. 協議会活動

<岡山県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<島根県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<鳥取県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<広島県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<山口県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

四国総支部 事業報告書

Ⅰ. 事業方針（※各総支部共通）

Ⅱ. 会議及び総支部活動

○総務会（4月17日・11人、11月6日・11人 オンライン）

○事務局長連絡会議（10月19日、令和6年3月12日・各4人 オンライン）

Ⅲ. 協議会活動

<愛媛県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<香川県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<高知県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<徳島県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

九州総支部 事業報告書

Ⅰ. 事業方針（※各総支部共通）

Ⅱ. 会議及び総支部活動

○総務会（4月4日・20人 別府湾ホテル／オンライン）※大分県協議会受け入れ

7月5日・20人 立正佼成会熊本教会）※熊本県協議会受け入れ

11月8日・24人 善隣教本庁）

○企画委員会（6月23日・12人、10月24日・12人、12月5日・11人、

令和6年3月11日・10人 立正佼成会福岡教会／オンライン）

※以下、企画委員会参加に関する協議会報告は省略

○九州総支部巡礼[熊本地震慰霊] 7月5日・10人 熊本県木山神社)

※以下九州総支部巡礼参加に関する協議会報告は省略

Ⅲ. 協議会活動

<大分県協議会>

○新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛

<沖縄県協議会>

- 沖縄宗教者の会活動への参加
 - ・第31回祈りと平和の集い打ち合わせ（5月18日・9人 立正佼成会沖縄教会）
内 容：開催とプログラムについて
 - ・第31回祈りと平和の集い事前打ち合わせ（5月30日・4人 立正佼成会沖縄教会）
内 容：伊波芳道念法寺住職の参加に伴う事前打ち合わせ
 - ・第31回祈りと平和の集い挨拶依頼（6月19日・2人 沖縄県知事玉城事務所）
 - ・第31回祈りと平和の集い最終確認（7月19日・10人 立正佼成会沖縄教会）
 - ・第31回祈りと平和の集いへの参列（8月15日・130人 沖縄平和祈念堂）
 - ・第31回祈りと平和の集い反省会（令和6年2月8日・7人 外部会場）
- 「不当寄附勧誘防止法」説明会への参加 ※日本宗教連盟・文化庁主催
（6月28日・3人 ホテルグランビュウガーデン沖縄）
- <鹿児島県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <北九州地区協議会>
 - 委員会（4月19日・5人 立正佼成会小倉教会、7月22日・5人 善隣教戸畑教会、
11月23日・9人 外部会場、令和6年3月7日・5人 立正佼成会門司教会）
内 容：総務会報告、令和5年度活動計画、近況報告、その他
※令和6年3月9日は青年会と合同で開催
- <熊本県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <佐賀県協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <筑後地区協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <筑豊地区協議会>
 - 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協議会としての活動を自粛
- <長崎県協議会>
 - 長崎県宗教者懇話会活動への参加
 - ・定例会、ポスター撮影（5月19日）
 - ・定例会（7月3日、12月7日 マルシェ・ド・リッシュュ）
 - ・第51回原爆殉難者慰霊祭実行委員会（6月16日、7月7日 立正佼成会長崎教会）
 - ・宗教者による世界平和を願う対話交流の集い（8月7日 マルシェ・ド・リッシュュ）
 - ・第51回原爆殉難者慰霊祭への参列（8月8日・70人 長崎カトリックセンター）
 - ・会員総会（令和6年1月22日 サンプリエール）
 - ・広島・長崎宗教者平和会議
（令和6年3月7・8日 爆心地公園・平和公園・京華園、鎮西大社諏訪神社）
- <福岡地区協議会>
 - 長崎県宗教者懇話会活動への参加
 - ・第51回原爆殉難者慰霊祭への参列（8月8日・20人 長崎カトリックセンター）
- <宮崎県協議会>
 - 宮崎県水と緑の森県民ボランティアへの参加
（10月21日・30人 宮崎市新別府町サンマリーナ宮崎多目的広場）

以上